

安全性と品質を確保！

自走式案内ロボット Libra

公共施設等でロボットによる先導案内を実現する

狙いと利用シーン

- 先導案内を実現するロボットのプラットフォームとして利用（採用済）
- 案内シナリオを入れ替えて、様々なイベント会場で利用可
- 規格適合のリスクアセスメントなど、開発のノウハウを提供

特長

- 点字ブロックやスロープなど様々な走行環境に対応
- 接する人に違和感を感じさせない優しいUI&筐体デザイン
- 安全規格適合性評価取得

生活支援ロボット安全規格

ISO 13482 : 2014

生活支援ロボットの安全要求事項—第1部

JIS B 8446-1 : 2016

主な仕様・性能

- 主要センサ
3D-LiDAR、2D-LRF、超音波センサー、バンパーセンサー
マイク、スピーカー、タッチパネル、魚眼カメラ
- サイズ 幅 598×奥行 700×高さ 1050 mm
- 重量 40 kg（バッテリー込み）
- 最高速度 5 km/h
- 段差乗越 6 mm（点字ブロック走行可）
- 登板角度 5度
- 連続稼働 5時間（耐用寿命5年を考慮）
- 低温環境を想定した温湿度評価済
（-5℃での環境試験を実施）
- EMC評価済（試作機で放射EMIのClass Bを達成）



案内ロボットプロトタイプ
Libra

